



630 奈良市高畑町 奈良教育大学自然教育演習室発行
TEL 0742-27-9207

シギ・チドリ、コミミズク (7) (続き)

井戸野池に戻ったのか、どこかへ行ってしまったのか確かめようと思い、陽が沈みかけていましたが、もう一度井戸野池へ戻りました。セイタカシギはやはり井戸野池に戻っていました。イカルチドリが1羽いて、ハマシギは17羽になっていました。他はさっきと同じでした。コサギとアオサギが飛んでいました。2回目に井戸野池に行った時の行き帰りにはコミミズクは見ませんでした。広大寺池でゴイサギが鳴いていました。
(前田健)

春日山

3月12日、春日山の方へ行きました。白毫寺の裏では2本の木に合計10羽のイカルが止まっていた。



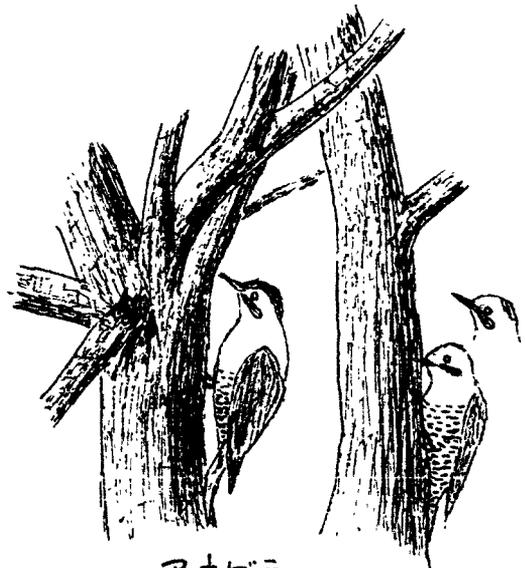
キクイタダキ

柳生街道の関係者の車が通れる方の道を上がって行きました。ルリビタキのメスとキクイタダキを見ました。キクイタダキはやっぱりモミヤツガのような形の葉をした針葉樹が好きなようです。いつもそういう木にいます。

山の上の新池にはカイツブリが1つがいて、追いかけ合いをしていました。池の周りではヒガラもよく鳴いていました。

そこから奈良奥山ドライブウェイを通って若草山の方へ行きました。行く途中で遠くで鳴いているマヒワらしい声を聞きましたが、はっきりとは分かりませんでした。

若草山ではアオゲラの姿をすぐ近くで見ました。アカゲラでさえこんなによく見たことはないというぐらいよく見えました。1本の木の違う枝にオスとメスが1羽ずつ飛んできて止まりました。背中アオバトのような黄緑色でした。オスは頭の上と目の下の真っ赤なところがすごくきれいでした。メスは口ばしの下のは赤は見えたけど、頭の赤は見えない角度に止まっていた。そのアオゲラが2羽とも飛んで行った後も、近くの木でコンコン、コンコンと音がしていたので、その木の近



アオゲラ
左がオス 右がメス

くでねばっていると、メスがちらっと姿を見せました。その時は頭の赤色も見えました。確かにオスよりも赤いところが狭かったです。アオゲラはこの春日山でも、春にはよくピョー、ピョーという声を聞いていましたが、姿は初めて見ました。若草山ではキジの声も聞きました。

春日山ではカイツブリ、コサギ(上空)、キジ、キジバト、アオバト、アオゲラ、アカゲラ(?)、コゲラ、ヒバリ、ビンズイ、ヒヨドリ、モズ、ルリビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、ククイタダキ、エナガ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、マヒワ(?)、イカル、ハシブトガラスを見ました。

テングチョウがあちこちにたくさんいました。新池の周りではルリタテハ、若草山ではキチョウらしい蝶も見ました。(前田健)

シギ・チドリ、コミミズク (8) 3月12日 夕

3月12日

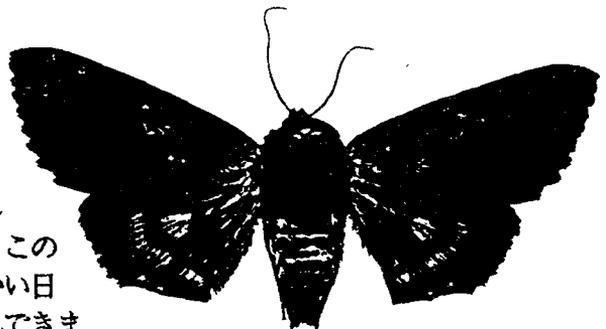
この日は父と一諸に行きました。広大寺池にはまたヨシガモがいました。オス1羽メス1羽でした。セイタカシギもいました。見ているとまたいつの間にかいなくなっていました。セイタカシギはなぜか飛ぶところが見れません。ハマシギも4羽いました。コチドリとタゲリがいませんでした。

コサギ、コガモ(メス1)、ヨシガモ(オス1メス1)、ハシビロガモ(メス1)、イカルチドリ、ケリ、ハマシギ(4)、クサシギ(1)、タシギ、セイタカシギ(1)、キジバト、ツバメ、ハクセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ツグミがいました。

井戸野池へ行く途中、コミミズクを探しましたが、見つかりませんでした。井戸野池へ行くとやはりセイタカシギが来ていました。ツルシギは2羽いました。ツルシギが翼を閉じたまま頭をかいていました。この前、セイタカシギが翼の上から足を出して頭をかいているのを見ましたが、足の長さが違うからやり方も違うのでしょうか。コチドリはここにきていました。このカシラダカとオオジュリンも夏羽に変わりかけていました。コガモのメスの翼2枚と口ばし付きの頭と羽毛が1羽分、散らばっていました。肉も一部ついていました。イタチにやられたのでしょうか。(前田健)

フクラスズメ

3月12日朝、教育大学の私の研究室の近くの廊下に、1匹のやや大型のガ(翅を広げた長さ、85mm)が落ちているように止まっていました。見ると、フクラスズメでした。このガは成虫で越冬するので、春に暖かい日が続くと活動し灯りをめざして飛んできます。従って、春先このガを時々見ます。



フクラスズメ

7~8月と秋の年2回、成虫(ガ)が発生します。秋早く時々大発生して、白と黒の縞模様のある鮮やかな色彩の幼虫がイラクサ、ヤブマオとかカラムシの葉を食いつくして一面にこれらの植物をぼうずにしてしまうことがあります。(前田喜四雄)